



2019年3月1日  
世界銀行  
池田泉州TT証券株式会社

## サステナブル・ディベロップメント・ボンド(世銀債)を通じた 社会的責任投資への取り組みについて

世界銀行（国際復興開発銀行、ムーディーズ：Aaa、スタンダード&プアーズ：AAA）及び池田泉州TT証券株式会社は、国内の個人投資家向けに発行するサステナブル・ディベロップメント・ボンド（開発途上国の持続可能な発展を支える世銀債）の販売を行いますのでその概要についてお知らせいたします。今回世界銀行が発行するサステナブル・ディベロップメント・ボンドは、期間5年のインドルピー建て債券で（発行額：201百万インドルピー、販売期間：2019年3月1日から3月27日まで）、全額池田泉州TT証券が販売いたします。

サステナブル・ディベロップメント・ボンドは、世界銀行が開発途上国の貧困削減および開発支援のために取り組む教育・保健・インフラ・行政・農業・環境等の幅広い分野のプロジェクトを支えるために国際資本市場で発行されます。世界銀行の支援は、今回ご紹介する開発途上国における海洋資源の持続可能な利用と保全に焦点をあてた取り組みも含まれます。世界銀行は2030年までに「極度の貧困を撲滅」し、「繁栄の共有の促進」を持続可能な形で実現することを使命としており、この2つの目標は、国連の「**持続可能な開発目標(SDGs)**」とも連携しています。

国際社会において私たちは、プラスチックによる海洋汚染、生態系の破壊等の深刻な問題に直面しています。海は人類の重要な食糧供給源であり、世界の経済活動においても重要な役割を果たしています。世界銀行は加盟国と共に、海と沿岸海域の環境回復を目指すプロジェクトやプログラムの実施を通じて、国際的な課題となっているプラスチックごみ問題や海洋環境問題に対する人々の意識を高める取り組みも行っています。

池田泉州TT証券は、サステナブル・ディベロップメント・ボンドの社会貢献性に賛同し、世銀債を個人投資家の皆様に販売するのは今回で5回目となり、販売額は累計17億円を超えます。池田泉州TT証券は設立5周年にあたり、投資を通じた社会貢献をしたいという投資家の皆様の思いと、世界銀行が開発途上国で展開するプロジェクトへの橋渡し役となり、今後も社会的責任投資を推進して参ります。



## 世界銀行の開発途上国支援プロジェクト事例

### 海洋環境問題への取り組み

#### ペルー：漁業及び養殖技術革新のための国家プログラム

非常に豊かな海洋環境を有するペルーは、世界でも有数の漁業国です。小魚の漁業に強く、総漁獲量でも世界の約 20%を占めています。特に魚粉や魚油にも加工されるアンチョベータ（ペルーアンチョビ）という小魚は、過去 10 年間で同国の輸出量の 7%を占めた重要な産業です。しかし、漁業に対する規制が不十分であったことから、水産資源の減少並びに漁船や加工工場といった設備の過剰化等の深刻な問題が発生しました。2009 年に導入された規制では、主に大規模漁業のアンチョベータ乱獲に対処しましたが、その他の魚資源枯渇の危険が続く中、小規模漁業に対する規制が不十分なまま放置されていました。本プロジェクトでは、アンチョベータ以外の魚種の新たな漁獲技術や、海洋および淡水養殖において成果に基づく奨励金を支給します。具体的には、魚資源を枯渇させないための調査報告の活用、漁業権制度の試行、正確な漁獲量報告の動機付け等の施策の導入を進め、大規模漁業と小規模漁業の持続可能性を追求します。同時に、養殖システムの生産性の向上と多様化も実行し、持続可能な水産業並びに雇用の創出を目指します。



世界銀行融資額:4,000 万米ドル

詳しくはこちらをご参照ください。(英語)  
<http://projects.worldbank.org/P155>

#### セーシェル共和国：持続可能な漁業・海洋資源保護プロジェクト

115の島からなるセーシェル共和国は、国土の3000倍に達する排他的経済水域を有し、世界有数の生物多様性ホットスポットとなっています。漁業は観光業に次ぐ国の最重要産業として GDP の 20%を占め、国民の 17%が従事し、水産加工品は輸出総額の約 95%を占めています。しかしながら、漁業や観光の拡大により、沿岸部および海洋の海洋資源は、持続不可能なレベルに近づいており、経済の発展と天然資源保護の両立が大きな課題となっています。こうした事態に対処すべく、政府は海洋の保護地域の拡大や漁業の管理等により、2020 年までに排他的経済水域の 30%を保護する戦略を打ち出し、本プロジェクトはこれを全面的に支援しています。具体的には、海洋資源を保護区域の拡大しつつ、漁業権優先割当てにおけるガバナンスの改善によって持続可能な漁業への転換を実現し、経済の多様化、付加価値の高い雇用の増加、および食料安全保障の向上により、「ブルー・エコノミー」の実現を最終的な目標としています。



世界銀行融資額:1,000 万米ドル

詳しくはこちらをご参照ください。(英語)  
<http://projects.worldbank.org/P155642/?lang=en&tab=details>



## 持続可能な開発目標（SDGs）

国際社会の新たな目標である「持続可能な開発目標（SDGs）」が2015年に国連サミットにて採択されました。今後15年の国際開発における意欲的な目標で、全ての人々に平等な機会を与え、かつ次世代のために地球環境を保護することを目指すものです。国連に加盟するすべての国は、本アジェンダをもとに2030年までに貧困や飢餓・エネルギー・気候変動・平和的社会など、具体的な17の目標の達成を目指します。



出典：[http://www.unic.or.jp/files/sdg\\_logo\\_ja\\_2.pdf](http://www.unic.or.jp/files/sdg_logo_ja_2.pdf)

## 池田泉州TT証券について

池田泉州TT証券は平成25年9月2日に開業、近畿初の地方銀行系証券会社として、池田泉州ホールディングスグループの豊富なサービスと、東海東京フィナンシャル・グループの証券ビジネスに関するノウハウを融合させた証券会社です。「おもてなしの心」を大切に、「地域の皆さまに愛される証券会社」を目指して努力してまいります。

＜SDGs推進の取り組み＞ 池田泉州TT証券はSDGsを推進するため、「SDGs&ESG投資セミナー」の開催、SDGsバッジの着用、社会貢献債の販売等を通じてSDGs達成に貢献したいと考えています。

＜2025年『大阪・関西万博』開催決定＞ 昨年11月23日、2025年国際博覧会の開催地が日本に決定しました。『大阪・関西万博』も、国連の『持続可能な開発目標(SDGs)』が達成された社会の実現を目指しています。

## 世界銀行（正式名称：国際復興開発銀行）について

世界銀行（国際復興開発銀行、通称IBRD：International Bank for Reconstruction and Development）は、1944年に設立が合意された国際開発金融機関で、現在189の加盟国が出資し運営しています。加盟国の公平で持続可能な経済成長を目指し、地域及び世界規模の経済や環境問題に効果的に対処していくために、IBRDは中所得国に対し、貸出・保証、リスク管理サービスに加え、開発に関わる様々な分野の専門的な分析・助言サービスを提供しています。世界銀行の目標は、世界全体の極度の貧困を終結し、すべての人々が共に豊かに暮らせるよう繁栄を共有させることです。世界銀行は貸出資金を調達するために、70年以上にわたり国際資本市場で世銀債を発行しています。詳しくはウェブサイトをご覧ください

[www.worldbank.or.jp/debtsecurities](http://www.worldbank.or.jp/debtsecurities)

以上